

要素訓練実施計画書（案） （評価項目及び評価方法）

【現場実動訓練(SFP注水)】

2020年10月
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

1. 要素訓練実施要領

(1) 要素訓練の目的

- 緊急時対策所と連携した事故シナリオに基づく現場実動訓練により、緊急時対策所及び現場対応要員の対応力向上を目的として現場実動及び情報連携訓練を実施する。
- 実働している現場対応要員を評価いただき、現場における課題の抽出を行い、改善事項を検討する。
- 抽出した良好事例をNRA及び電力各社と共有し、緊急時対策所及び現場の対応能力の向上を図る。

(2) 要素訓練のテーマ

- a. テーマ : 2号機 使用済燃料貯蔵槽（以下、SFPという。）の水位回復
- b. 対応手順：車載式注水ポンプによる注水
- c. 対応手段：緊急時対策所と連携し、車載式注水ポンプを用いて2号機SFPに注水

(3) 実施日時

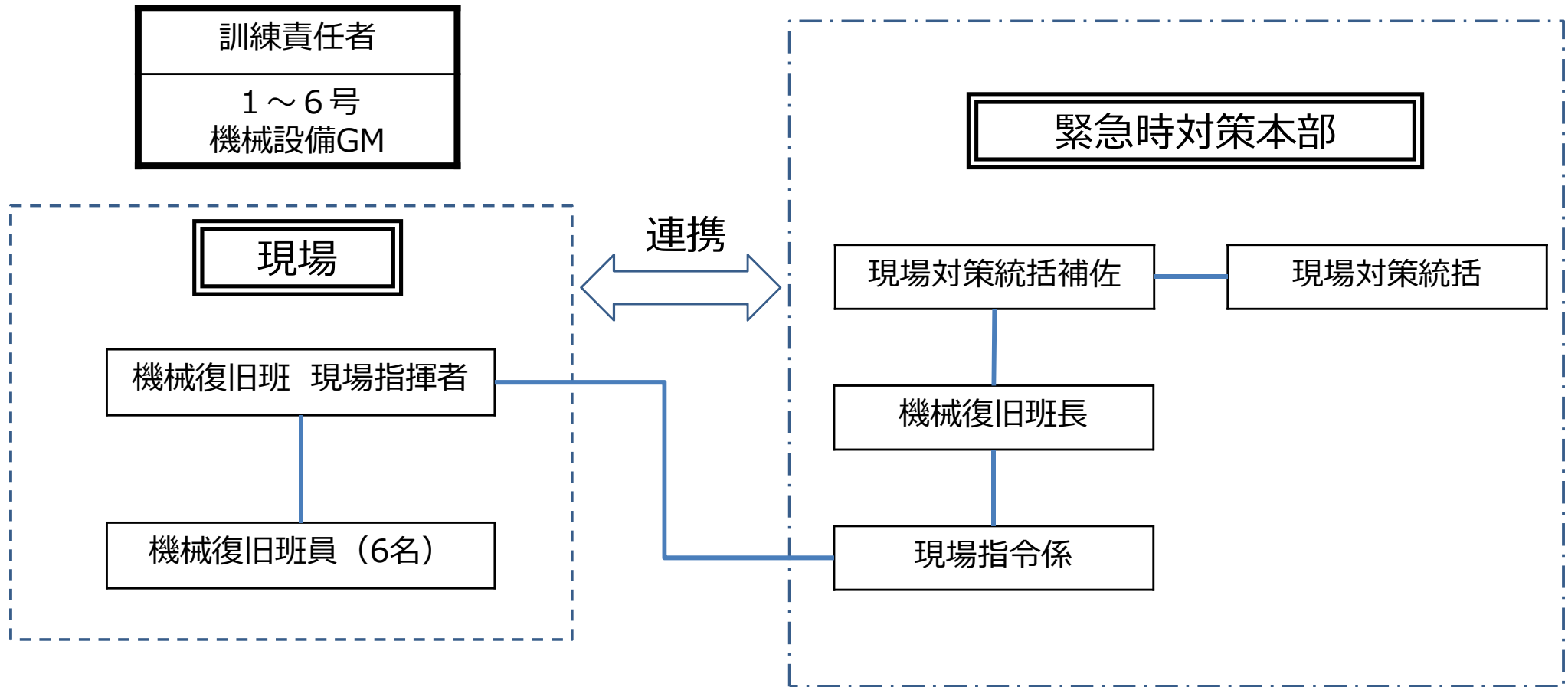
- 2020年10月26日（月） 13:00~16:00

(4) 訓練実施体制

訓練体制図参照

1. 要素訓練実施要領

(5) 訓練体制図



: 現場実動要員

コントローラ (付与)

: 現場実動に関する緊急時対策本部体制

(留意事項)

状況により、訓練対応者の変更が生じる場合がある。

1. 要素訓練実施要領

(6) 要素訓練の手順

【訓練時のプラント状態（2号機）】

- ・2号機SFPからの漏えいが発生。（水位低下継続中）
- ・1～3号機SFP注水用の既設送水ポンプが電源ケーブル断線により使用できない。
- ・2号機SFP水位回復のため、ろ過水タンクを水源として車載式注水ポンプによる注水を行う。

手順

- | | |
|-------|-------------------------|
| ステップ1 | 緊急時対策所本部から高台設備の健全性確認を指示 |
| ステップ2 | 現場出向～高台側設備の健全性確認 |
| ステップ3 | 緊急時対策所本部から2号機SFPへの注水を指示 |
| ステップ4 | 2号機SFP注水ラインナップ |
| ステップ5 | 2号機SFPへの注水開始 |

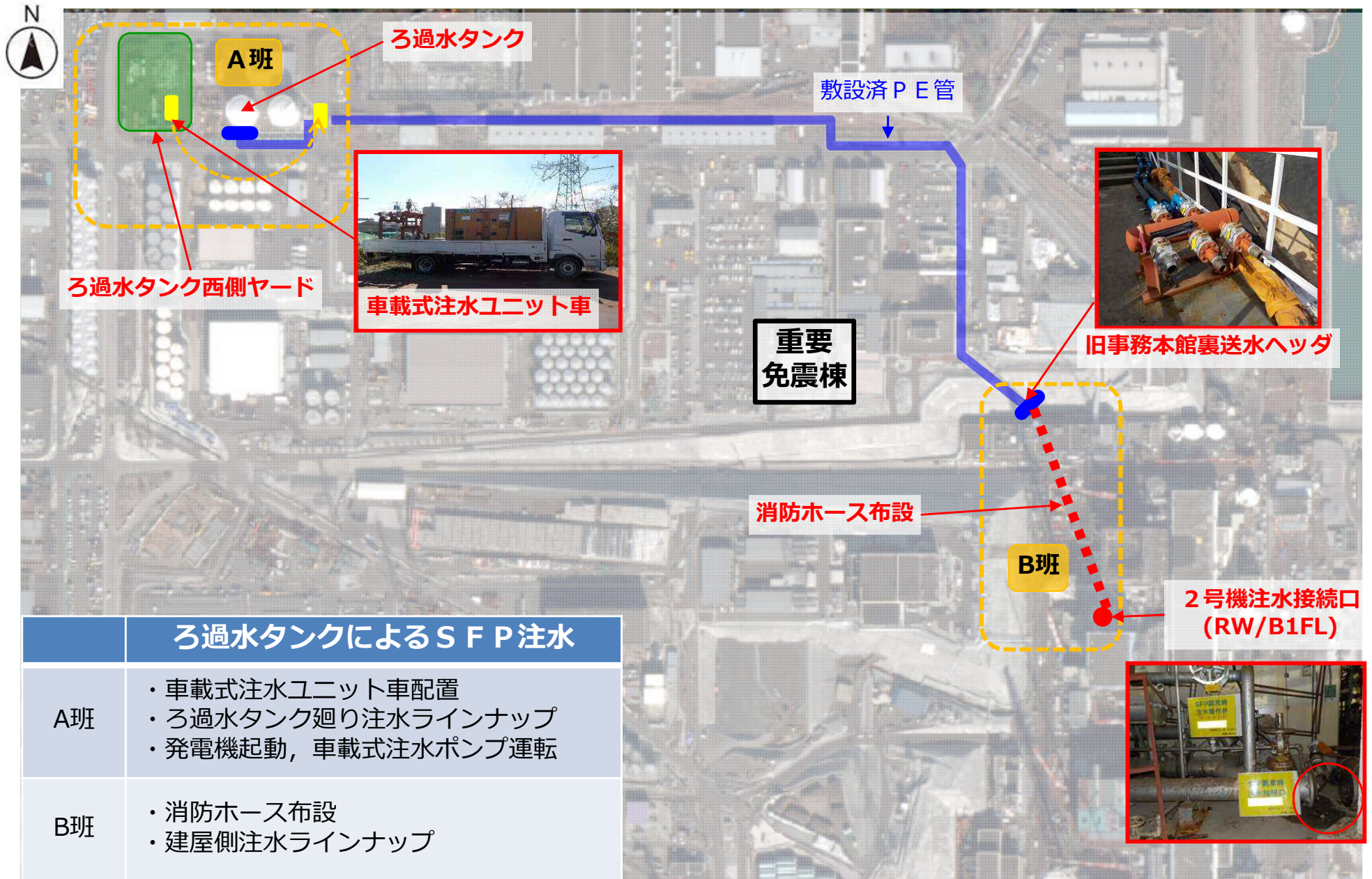
現場訓練時間：約3時間00分

(留意事項)

- ✓ ステップ5の注水は模擬とする。
- ✓ 現場の放射線量を考慮し、模擬場所で訓練を行う。
ただし、放射線防護装備を着用する。

1. 要素訓練実施要領

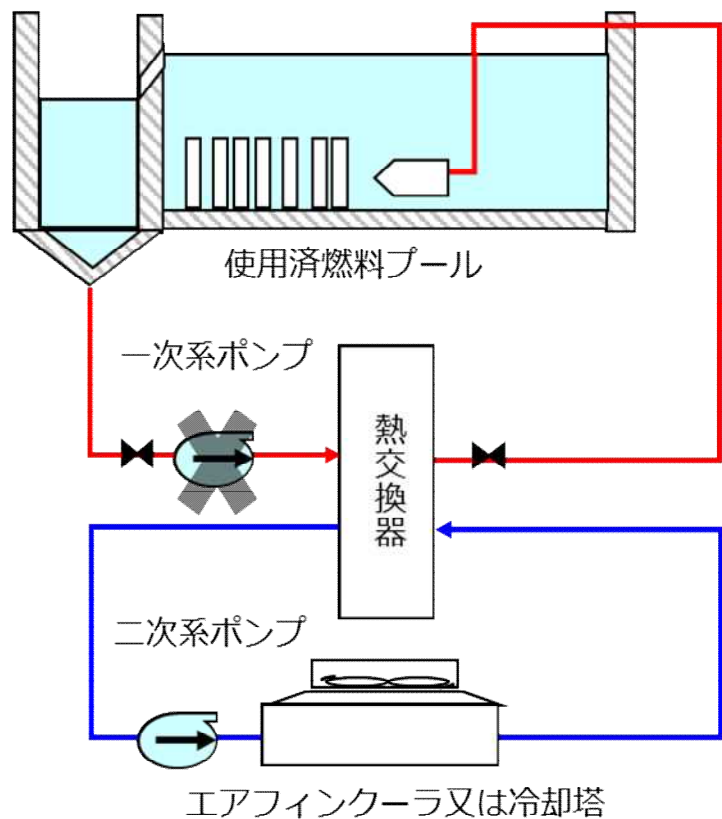
(7) 現場配置図



1. 要素訓練実施要領

(8) 系統概要図

スキマサージタンク



消防ホース敷設

送水ヘッダ
(旧事務本館裏)

カナフレックスホース接続

PE管
(敷設済)

車載
送水ヘッダ

車載式注水ポンプ配置



ろ過水タンク
8,000m³

ろ過水タンク
ヘッダ

— : 一次系ライン
— : 二次系ライン

— : 非常用注水ライン (敷設済)
- - - : 非常用注水ライン (非常時敷設範囲)

2. 要素訓練 観察実施要領

(1) 訓練観察体制

- 社内評価者 : 1名
- サイト運転検査官殿 : 〇名
- 他事業者 : - ※

(2) 訓練観察時資料

a. 要素訓練実施計画書 [発電所固有資料]

- ✓ 訓練体制, 訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認

b. 要素訓練観察チェックシート [発電所固有資料]

c. 手順書 [発電所固有資料]

- ✓ 公開可の内容については事前に送付
- ✓ 公開不可の内容については, 当日配布で回収
- ✓ 訓練設定上の模擬範囲, スキップ範囲を明確化

- ※ 新型コロナウイルスの影響を考慮し、他事業者による訓練視察は行わない。
他事業者には、後日送付する映像媒体と（2）の資料一式によりを、訓練に対する気付き事項、良好事例、改善事項を抽出していただく。

3. 要素訓練評価項目及び評価方法

(1) 評価項目

- ✓ 要素訓練全体(緊急時対策所及び現場実動)での共通的な評価
- ✓ 要素訓練テーマ(2号機 SFPの水位回復)ごとの共通的な評価
- ✓ 発電所特有の手順に関する評価

※全評価項目の観察, 評価を必須とするものではなく, 観察できた項目の評価を行うものとして整理

(2) 観察記録: 評価の理由となる事実

(3) 気付き事項, 良好事例, 改善事項

- ✓ 気付き事項: 良否の判定に関係しない, 何らかの気付いた事項
- ✓ 良好事例: 特に優れている項目。評価者が自社の改善につなげられる項目。
- ✓ 改善事例: 改善の必要性及び改善方法の提案 (少なくとも方向性)

(4) 評価結果等の反映

- ✓ 評価結果, 良好事例, 気付き事項及び改善事項については, 機能班で実施可否を検討したうえで反映する。
- ✓ 評価結果等は、必要に応じて他機能班に水平展開する。
- ✓ 必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。